

2019年9月17日

報道関係各位

株式会社バルクホールディングス
名証セントレックス:2467**株式会社 CEL が投融資・M&A 等を検討する企業に対して**
サイバー・デューデリジェンス・サービスを提供開始

当社 100%子会社である株式会社 CEL（以下「CEL 社」）は、M&A 等におけるセキュリティリスクの向上を背景に、投融資や買収・合併等を検討する企業に対するサイバー・デューデリジェンス・サービスの提供を開始いたします。

昨今、サイバーインシデントにより企業の事業活動や、株式市場における企業価値に対して重要な影響を与える例が多く見受けられます。たとえば、投融資や M&A 等の対象企業でのセキュリティ意識が十分でなく、システムが深刻な脆弱性を抱えている場合や顧客情報の漏洩等が発生していた場合は、取引時における価値算定に対して重要な影響を与える可能性があります。また、サイバーセキュリティの課題が取引後に顕在化した場合の経済的損失や、追加費用の発生等も想定されます。また、被買収企業のシステムを踏み台として買収元企業のシステムに侵入する目的で攻撃する例なども見受けられます。このような傾向が今後も増加することが想定される中で、従前より慎重なサイバー・デューデリジェンスを実施することが投融資や M&A 等取引実行の際の重要な課題となりつつあります。従前より行われている、事業、財務、法務、会計税務、環境等のデューデリジェンスに加え、新たにサイバー・デューデリジェンスによるリスク評価の重要性が高まっています。

また、保険やプロジェクトファイナンスの提供、国際入札等の際に、要件としてサイバーセキュリティへの対策や対応能力を問う例がグローバルで増加している中で、日本において技術面も含むサイバーセキュリティのリスク評価は、未だ十分に行われていないのが現状です。

CEL 社ではお客様からの上記課題への対応ニーズの高まりを受け、IT から OT まで社内のシステムに関する包括的なサイバーセキュリティリスク評価を実現する新サービスを開始いたします。具体的には、CYBERGYM レッドチーム^{※1}、『ImmuniWeb@AI Platform』^{※2}、『SIGA Platform』^{※3}を活用し、企業の侵入ベクトルの包括的な可視化と評価を行うことで、企業価値の保全を目的とした包括的なリスク評価を実現します。

本サービスは、買収元企業及び対象企業のほか M&A 等に関わる銀行・証券会社・M&A アドバイザリー会社・コンサルティング会社等のフィナンシャル・アドバイザーや弁護士事務所・会計事務所・社会保険労務士等の専門家集団にも提供し、利用企業の拡大を図ってまいります。

※1 CYBERGYM レッドチーム

イスラエル国防総省の参謀本部諜報局情報収集部門の 8200 部隊の経験豊富で攻守を兼ね備えたハッカーと、その他のサイバーディフェンス組織の経験者で構成され、攻撃・防御演習において、攻撃を仕掛ける側をレッドチーム、防御する側をブルーチームと呼びます。

※2 『ImmuniWeb@AI Platform』

4,000 万件以上の Web サイト診断実績があるスイスの High-Tech Bridge SA が提供する機械学習・人工知能（AI）の応用により品質・スピード・コスト競争力を兼ね備えた脆弱性診断・ペネトレーションテストプラットフォームです。

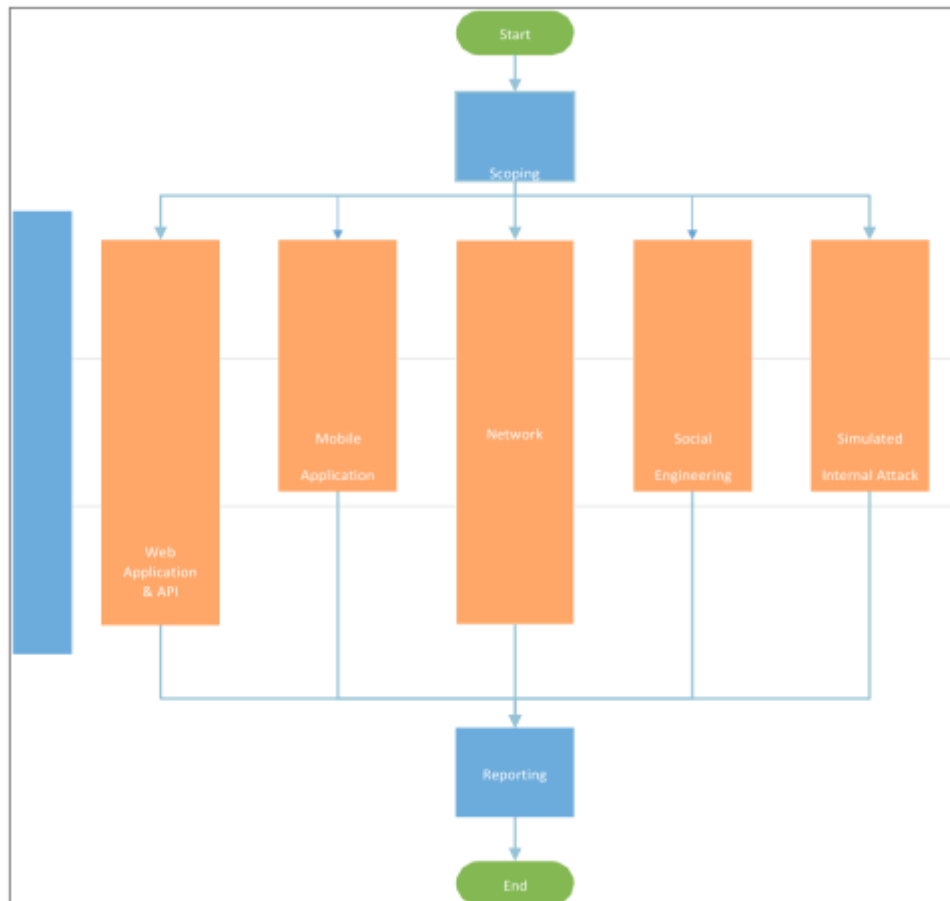
※3 『SIGA Platform』

イスラエルの SIGA OT Solutions が提供する AI を用いた産業制御システム向け初期障害検出サービスで、既存の産業制御システムを停止させることなく、ICS（インダストリアル・コントロール・システム）における脅威を即座に特定することを可能とし、異常の初期兆候の的確でリアルタイムな状況把握を実現するサービスです。

【本サービスの概要】

米国連邦政府セキュリティ規格である FedRAMP によると企業への侵入経路は以下の5種類に分類されます。国内セキュリティサービス事業者は通常、企業内システムにおける部分的な検査を実施していますが、サイバー・デューデリジェンスの観点から企業の侵入経路を包括的に調査・評価し、脅威シナリオを作成できる国内事業者は多くありません。

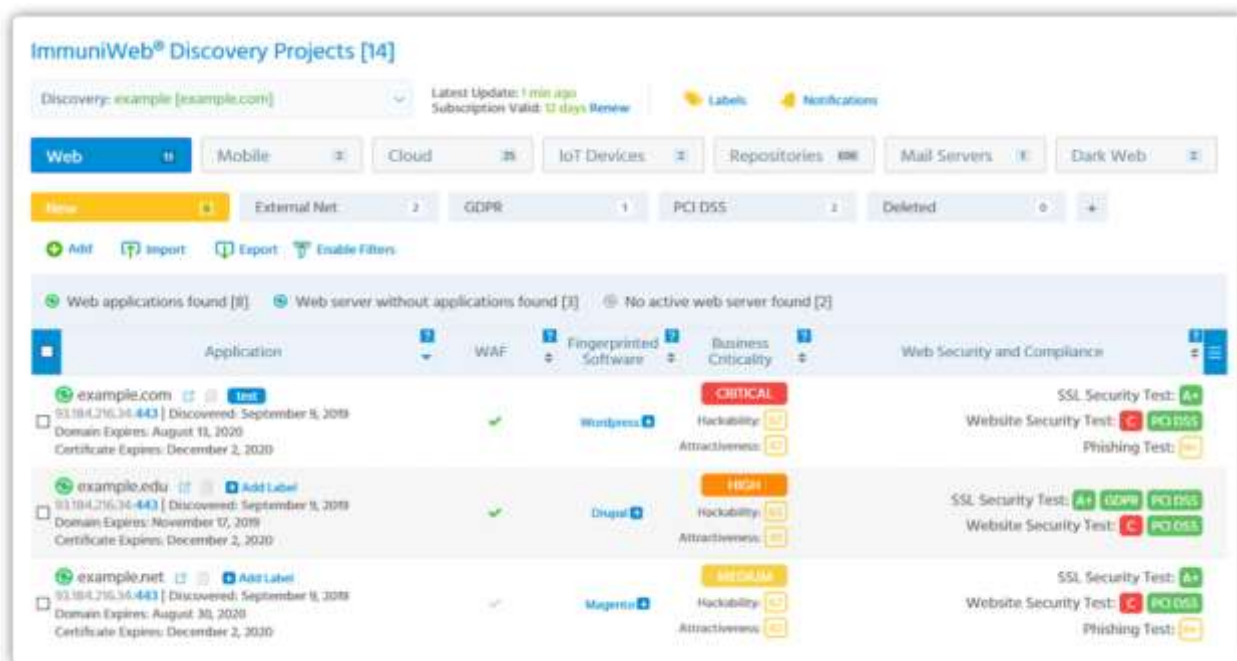
<FedRAMP 企業への侵入経路>



サイバー・デューデリジェンスの対象となるシステム

- ・ WEB アプリケーション、WEB サーバ、API など
- ・ モバイルアプリケーション (iOS、Android)
- ・ メールサーバ
- ・ Amazon Web Service、Google Cloud Platform、Microsoft Azure などのクラウドサーバ
- ・ IoT デバイス (IP カメラ、プリンタ、空調システム、ルータなど)
- ・ OT デバイス (センサ、アクチュエータ、ICS、PLC、SCADA、HMI、VoIP など)
- ・ プラットフォーム、ネットワーク (ファイアウォール・WAF・プロキシなど)
- ・ ダークウェブあるいは Pastebin などのインターネットサービス上に漏洩している企業資産
- ・ ソフトウェアソースコード、ハードウェア、チップ
- ・ エンドポイント端末 (PC、スマートフォン)
- ・ サプライチェーンにおけるシステムリスク
- ・ システム部門が管理、把握できていないサーバ、ドメイン、アプリケーション等

<システム診断画面のイメージ>



サイバー・デューデリジェンスのメリット

- ・ 企業価値の多面的な評価による取引金額の調整
- ・ クローリング後のシステム統合に際するリスクとコストの多面的な評価
- ・ データ侵害による損害・費用発生の防止、低減（知的財産の流出、社会的信用やブランドの失墜、業務の停止、復旧費用、企業価値の低下など）
- ・ サイバー保険の活用等によるリスクの移転
- ・ その後の危機管理プロセスの構築への重要なインプット

また、当社グループである Strategic Cyber Holdings LLC では米大手損害保険会社とサイバーセキュリティ保険一体型トレーニングを提供していますが、投融資や M&A 等においてもサイバーリスクの適切な評価とトレーニングの提供やソリューション提供を連動させることで、ROI の観点でも大きなメリットをもたらすといえます。

当社グループは、あらゆる環境において“お客様をサイバークライムから守る”ことを重要な使命としており、その実現のためにサイバーセキュリティ分野の各テーマに一つずつ取り組んでまいり所存です。今後も、様々な先端技術を導入し、各事業パートナーとの最適な連携関係を構築することで、株主価値の最大化を目指してまいります。



会社名：株式会社 CEL (CEL LTD.)

所在地：東京都港区赤坂 1-14-11 HOMATROYAL1 階

代表者：代表取締役 田中翔一郎

事業内容：セキュリティ検査およびコンサルティング

<https://celab.co.jp/>

以上

報道関係者様お問合せ先

株式会社バルクホールディングス <https://www.vlcholdings.com/>
経営企画室 TEL : 03-5649-2500 FAX : 03-5649-2710